

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では下記の臨床研究に用いるため、患者さんの試料・情報を利用させていただいておりますので、お知らせいたします。

研究課題名： インスリン低血糖試験の成否に関わる要因および至適インスリン投与量の検討

研究の目的

視床下部や下垂体の障害によって副腎皮質機能低下症および成長ホルモン分泌不全症を発症することがあります。それらの診断基準となる検査として、従来よりインスリン低血糖試験が広く用いられています。有効な低血糖刺激（有効刺激）を得るために必要なインスリン量は 0.05～0.1 単位/kg とされていますが、肥満・耐糖能障害・糖尿病を持つ患者様では初回インスリン投与で目標とする血糖値まで低下しないことがしばしば経験されます。追加インスリン投与では初回投与に比較し高用量でも血糖がなかなか低下しない場合もあるため、できる限り初回インスリン投与で有効刺激を得ることが望まれます。本研究の目的は、過去に当科にて施行したインスリン低血糖試験の結果と患者様の背景を解析し、患者様の背景に合わせた至適インスリン投与量を検討することです。

研究実施期間： 年 月 日 ～ 2022年 3月 31日
(倫理委員会承認日)

対象となる方： 2014年4月1日～2021年11月30日の期間中に当院にてインスリン低血糖試験を施行した患者様

利用させていただきたい試料・情報について

(他機関に提供する場合、提供先機関の名称及び当該機関の研究責任者氏名含む)

当院のカルテに記録されている情報のうち、インスリン低血糖試験の結果、身長・体重、血糖や脂質などの身体計測・採血データについて、標記研究課題実施のために利用します。

具体的には、インスリン低血糖試験の初回インスリン投与量・試験の成否(十分な低血糖刺激が得られたかどうか)と身長・体重・代謝パラメータについて統計解析的手法を用いて比較することで、初回インスリン投与量と試験の成否に関連する因子を検討します。

なお、利用に当たっては氏名、住所、電話番号、患者番号等個人を特定できる情報を削除し、本研究のための固有の番号を付して（これを匿名化といいます）、行います。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。研究から得られた個別の結果については原則としてお答えしませんが、希望される方は下記連絡先までご連絡ください。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない患者さん/その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

研究への利用に同意いただけない場合、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承ください。

本件連絡先	内分泌内科, 糖尿病代謝内科 助教 村澤真吾 TEL : 0172-39-5062
--------------	--